

## 国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション3：アジアの市場統合 ～競争か、協調か～

### アジアにおける資本市場の成長と協調：将来に向けての共通のビジョン

ジュリアン・パク

韓国金融監督院 (FSS) 局長

#### 概要

韓国の株式市場は、1956年に上場企業数12社で始まり、2011年には1,800社以上が上場するまでに成長した。現在のの上場企業合計の株式時価総額は1,042兆ウォン、韓国取引所 (KRX) の1日平均の売買代金は6兆8,630億ウォンである。

韓国株式市場が著しい成功を収めた理由のかなりの部分は、資本市場の発展を促すために、韓国政府が継続的に努力してきたことによる。従って、韓国の経験は、自国資本市場の成長を目指しているアジア各国の政策当局にとって、成長戦略を策定し、実施する際のまたとないモデルとなると思われる。加えて、韓国金融監督院は、資本市場の国際競争力を強化し、国境を超えた地域間協力を推進する上で、同国の金融監督当局として重要な役割を果たしている。

ここ十年ほど、先進国では証券取引所の合併が相次いで見られるようになった。韓国取引所 (KRX) は、民間企業ではあるが、今後も準公的機関という位置付けを運営していく。近年、韓国取引所は、アジア太平洋地域の海外取引所との連携を強化することに重点的に取り組んでおり、金融市場のインフラのIT化や近代化に関するノウハウの共有、およびKRXの上場金融商品と海外取引所に上場している外国企業銘柄との相互上場を進めている。